

はつらつ
ところっこ

暮らしと暮らすトコロを見つめて



暮らしと暮らすトコロマーケット実行委員会 委員長

おかだ はじめ
岡田 一さん（市内在住）

普段のstudio caravanは鉄工所兼家具工房。時折、工芸作家を招聘し、企画展やマーケットを開催し、交流の場となっている。最近では年1回のペースで台湾にも出展。久しく離れていた中国語の勉強を再開している。

暮らしと暮らすトコロ
マーケットの
詳細はこちら。studio
caravan

毎年11月に開催される「暮らしと暮らすトコロマーケット」（本紙7面）は、クラフト、アート、食と農、音楽が融合した市内最大級のマーケット。その発起人で実行委員長を務めるのが岡田一さんだ。

鉄工所の長男として生まれ、柳瀬小学校、柳瀬中学校を卒業。1学年3クラスの小さなのんびりとした環境で育った。

目立つタイプでも、目立ちたいタイプでもない物静かな少年は、中学生のときにラジオ番組で紹介されたザ・ビートルズに出会い、大きく変わり始める。彼らの生き方や思想、作り出した音楽を知るほど、魅せられた。親に買ってもらったアコースティックギターを弾き、英語の勉強にも熱中した。いところがイギリスに留学したこともあり、海外への興味が湧き上がった。

1972年の日中国交正常化以降、テレビドラマ「西遊記」が人気を博したり、日本の歌手が中国でコンサートをしたりと、1970～80年代は中国のことが盛んに取り上げられていたこともあり、自身の中国への関心も大きくなっていった。

ついに1989年、大学2年生のときに横浜港から中国へ旅に出た。期せずして、天安門事件の直後のことだった。

大学では社会科の教員になろうと教職課程もとったが、秘境専門の旅行会社に就職した。その選択の背景には、学生時代

に日本とは全くモノサシの異なる世界をのぞいたことやバブル景気に沸く社会への違和感もあったかもしれない。旅行会社では、旅行手配やプランニング、添乗など海外を飛び回る数年が続いた。その後転職したが、旅行ライターとして働くなど、気持ちは依然として海外へ向いていた。

しかし、旅に関わる仕事の中で「これからの、この先の人生をこんなふうに生きていきたい」と思える答えが見つかった。それは、日常の暮らしに目を転じることだった。工芸品や家具が好きだったこともあり、最終的にインテリア業界に落ち着いたが、そこでは海外で作られた商品を安く仕入れて大量に売りさばくことが求められた。売上げの数字と効率性の世界で働くことは心身が疲弊する日々だった。

そんなとき、インテリアと家業の鉄工とを組み合わせると何か生み出せないだろうかと思いつく。父親に溶接を教わりながら、独学で家具を作り始め、2010年に鉄工所の一角に「studio caravan」をオープンさせた。

「作り手が真剣に作った作品をぜひ、ゆっくり見てください。そしてマーケットを通して、日々の暮らしと暮らすトコロを見つめるきっかけにして欲しいです」と岡田さん。暮らしと暮らすトコロマーケットのひとつのテーマは、所沢に300年間続いてきた三八の市を現代の解釈で再構築したマーケットであるということ。所沢の歴史へのオマージュも込められている。

今秋はマーケットに足を運び、自身の暮らしを見つめてみたい。（取材：上地）

今月のプレゼントクイズ！

乾燥する季節 潤いをあなたに
ところんリップクリーム&ハンドクリームセット
(2,475円相当×15人)



手や唇の乾燥が気になる季節。所沢市特産品「狭山茶」（うるおい成分）を配合したリップクリームとハンドクリームで、潤いチャージ。しっとりするのになベタつかないつけ心地で、無香料、無着色、天然由来成分のみを配合。ところん生誕15周年を記念して、15人にプレゼント♪



ところん
（Web shopのみ）
☎0120-547-043
（午前10時～午後5時30分／土・日曜、祝日定休）



Web shop

◆今月のクイズ

9・10・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆応募方法（11月10日月締め切り）

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦11月号の感想を記入し、〒359-8501広報課（住所不要）に郵送・市HP（Qプレゼント）で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



市HP

読者感想文

- 最終処分場が市内にあることを知りませんでした。日頃から資源ごみの分別を心がけ、ごみを減らす取り組みはしていましたが、最終処分場の存在を知ることにより、一層意識が高まりました（中富南・30代）
 - 夏休みにエコ活動に取り組んだときに3R運動やゴミの処分について調べ、興味がありました。「やなせみどりの丘」の特集は、物を消費すると最後どうなるか、どうするべきか考えるきっかけとなりました（緑町・10代）
- 編集から●最終処分場のことを知って、ごみの減量に取り組みたいという感想を多くいただきました。毎日の生活の中で3Rを意識した

いですね

- ところざわまつりと市民フェスティバルの季節だなと思いました。こどもの頃から行って今年も行こうと思います（久米・50代）
- 編集から●秋は大きなイベントが目白押し！ぜひ参加してみてください
- はつらつところっこは、生まれも育ちも所沢という方が多いですが赤池さんのような方がいらっしゃると新たな住民も伝統ある行事に参加しやすくなりますね！（中新井・60代）
- 編集から●これからも所沢にゆかりのある方をどんどん紹介していきます！お楽しみに♪

編集後記

はつらつところっこの岡田さん、大学生の頃のあだ名は「ヘビメタ君」だったそう。金色の長髪に革ジャンとブーツといういでたち。今の姿からは想像もつきません。実行委員長とお聞きし、勝手に厳しい方かと想像していましたが、次々に楽しい話が飛び出してきて、ユーモアに溢れた方でした。いろいろな国を見て歩いた岡田さんが企画した「暮らしと暮らすトコロマーケット」に行ってみてください（上地）

今月は所沢の75年の歴史を振り返る特集です。過去の歩みを振り返り、より良い未来に一步踏み出しましょう！観光大使の皆さん、快く取材にご協力いただきありがとうございます（深町）

いよいよデフリンピックが開催されますね！市ゆかりのアスリートでもある川畑選手と鈴木選手がメダルを懸けて戦います。大会の詳細は本紙6面をご覧ください。みんなで応援だー！（関）